

小野蓮那 ついでに 俳人。文政十年九月、二十四日上野國利根郡白澤村生れ。明治二十九年十一月、二十九年没（八二七一九六）。木谷彌共衛、幼谷良助、別號天命庵、有隣庵、船遊。明治初年、二条幹雄、天野泰吉等と交遊。また、史蹟名勝を採り、諸處周遊吟行して蕉風を研究。七年幹雄の俳諧の論社を鎮すに際し取締役となり、少講義を補せられた。句集「鸚鵡帖」の他、門人と成せる百韻「春文山」を始り、幹雄等俳友との歌仙がある。



遺句集は天命庵を繼いで、長男小野逸堂の作品と共に「白露集」（昭和十五年十月十日群馬・島田秀雅編輯）に収録。

